

2021年度 第5回 藤沢市立片瀬小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2022年 2月 15日（火）10時～

場 所 片瀬小学校 図工室

出席委員	<p>岩田 和美（会長・片瀬地区青少年支援フォーラム会長）                  村上 孝行（副会長・片瀬小学校校長）                  横田 淳一（片瀬市民センター長）                  大平 幸子（片瀬公民館職員）                  西永 雄二（前片瀬中学校 PTA 代表）                  松本 眞理子（片瀬地区主任児童委員）                  林 直樹（東京都片瀬学園長）                  石渡 裕司（元小学校長）                  杉下 由輝（片瀬こま保存会事務局長）                  小川 麻利央（保護者）                  廣瀬 夏子（片瀬小学校総括教諭）                  森谷 雅子（片瀬小学校教頭）</p> <p style="text-align: right;">以上12名、委員全員出席</p>
次第	<p>1. 開会                  2. 会長あいさつ                  3. 議題（1）学校評価について                      （2）令和4年度学校運営方針について                      （3）今年度の振り返りならびに来年度について                      （4）その他                  4. その他                  5. 閉会</p>
協議内容	<p>* 3.（1）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村上副会長…①児童（対象3・5年生）：どの項目においてもC評価（あまりあてはまらない）D評価（あてはまらない）がいることに注目しなければならない。教職員で知恵を絞って、豊かな学校生活となるよう努めていく。</li> <li>②教職員：「楽しい学び」の楽しいとは、わかる、感激するということ。そんな授業をめざしていく。「和」の中のあいさつについて、声を出すだけでなく気持ちを表す形もある。教職員の連携については、今まで以上に深めていかなければならない。</li> <li>③保護者：教職員分同様、教職員同士連携を密に取ることを意識していく。対象人数が少ないことも課題のひとつかもしれない。（対象者はPTA運営委員）</li> </ul> <p>・杉下委員 …①教職員分の授業の充実の項目についてのC評価（あまりあてはまらない）は、コロナ禍で制限があるために楽しい授業ができなかったと正直に回答したのではないだろうか。</p> <p>②同じく項目10についてはコロナの影響により集まりを持ちに</p>

くいため、例年と違うやり方しかできないので正直に回答したのではないだろうか。

- ・ 廣瀬委員 …①では、授業をしていない者がC評価にしているかもしれない。
- ・ 村上副会長…①では、100%わかりやすく楽しい授業はなかなかできない。若い教員が謙遜しているところがあるかもしれない。②では消毒作業や牛乳パック洗いなど業務が多くなっていることは確か。こんな状況はあるけれど、しっかり連携を取っていくことは今後の課題と考える。
- ・ 杉下委員 …様子はわかった。このデータは外部に示される。数字だけだと誤解されてしまうかもしれないので、注釈を付ける必要があると考える。
- ・ 村上副会長…学校だよりで発信する。学校としてはコロナのせいにはしたくない。杉下委員の今の発言については、会議録により報告したい。
- ・ 杉下委員 …あいさつについて。マスクを着けていると口元が見えない。手話を用いてみてはどうか。声に出さなくとも気持ちが通じ合える地域になるかもしれない。
- ・ 西永委員 …児童分について、B評価（だいたいあてはまる）でも課題ありかもしれない。評価基準を示してはどうか。例えば100点満点中何点か。また、どうしたら100点になれるか、考えさせる。3の項目から「楽しくない」につながっていくのかもしれない。
- ・ 岩田会長 …ABCDの基準をわかりやすくするのは良いと思った。

\* 3. (2) について

- ・ 村上副会長…「えがお」は教職員にも児童にも浸透してきていると感じる。地域を学ぶ、地域で学ぶことも必要。「和」は、和に入れない子のために、和を「つむぐ」とした。
- ・ 林 委員 …進んで働く子の学校生活の中でのイメージは？
- ・ 村上副会長…他人から言われなくても行動できる子や、困っている友だちを助けてあげられる子。
- ・ 石渡委員 …今の学校は先生も子どもも大変。楽しい学び、本当に楽しい学びとは何かを先生たちが学び合い深めてほしい。それが、藤沢の子どもたち、藤沢の将来のためになっていく。
- ・ 松本委員 …「地域の和」について。今年度も昔遊びの活動は中止になった。80歳代の16名の希望者は、子どもたちとの交流を楽しみにしていた。時期をずらしての開催を考えられたら。
- ・ 横田委員 …リモートでの学習が進んでいくと別室登校の子どもの中には前に進むことができる子がいるかもしれない
- ・ 西永委員 …「学校教育目標」を一番下に示すほうが良いと考える。
- ・ 岩田会長 …自分らしく学んで生きる場所が学校だと思う。明るく元気な子ばかりではないので。

\* 3. (3) について

- ・ 村上副会長…今年度は、PCサポートのような人的支援を中心をお願いをしてきた。このことについては来年度も引き続き、新1年生のサポートをお願いしたい。そのほかに学習支援・校外学習の見守り・地域

での学び・体力測定の測定員など、今取り組んでいることを充実させていき、また地域から学校の課題を挙げていただきそのことについて取組んでいきたい。

\* 3. (4) について…1年を通しての感想等

- ・ 杉下委員 …コロナの影響で先生方はやりたいことができない、地域は支援したくてもできない、そんな1年であったけれど、それぞれの取組に感謝と敬意を表す。
- ・ 石渡委員 …全校表現発表会は雨が降る寒い中だったが、子どもたちは良くやっていた。先生たちもよくやっている。算数の学習のレベルは上がっているので取り残しの無いように、できる限り地域と一緒に学習支援していくことが大事である。
- ・ 林 委員 …議事がていねいになされている。5回の会議を（対面で）持ててよかった。
- ・ 松本委員 …「ひだまり教室」について、今年度は学校でプリントを配付し募集したが来年度は地域の回覧によって募集をかける。少しでもニガテを克服して中学校へつなげてあげたい。学校から配付をしたためか塾や公的なものと捉えている保護者がいるが、実際はボランティアで、会費は教材のためのみとなっている。
- ・ 小川委員 …コロナで大人も子どもも不安に思っている。「明るく元気な子」ばかりではないはず。自分らしくいられることがわかれば将来の子どもたちにとって強いものになる。自分の子どもの学級だよりを読むと担任が子どもたちに考えさせて、思考の課程を知ることができるところが良い。
- ・ 西永委員 …中学校のPTAに関わって、先生は忙しいことがわかった。生徒も保護者も見なければならず、いろいろな意見があるところでの舵取りが大変なことを知った。何でも先生にお願いするのではなくて、PTAや地域やこの会議ができることは我々がやっていきたい。
- ・ 大平委員 …「楽しい学び」に関して、公民館講座においても共通。学校に行かれない子どもに何かきっかけづくりができたり、大人になったときに思い出すような心に残る体験だったり、片瀬ならではの（公民館として）できることを考えていきたい。
- ・ 横田委員 …公民館としては、学校での学びの土台作りとなるような事業をおこなっていきたい。学校HPに載せるかたちで公民館事業のPRをしていきたい。
- ・ 廣瀬委員 …学校を知ってもらえる良い機会となった。これまで学校は孤立していたように思う。教室に入れない子どもが家族のみとのつながりとならないように、どんな人どんな場所とでも外とのつながりを持てるようにしてほしい。
- ・ 森谷 …議事録を作成してきたが、みなさんの考えを上手に表すことができているとよいのだが。学校のことを一生懸命に考えてくださり有意義な時間だった。これからも地域で片瀬の子どもたちを育ててくださるとうれしい。1年間ありがとうございました。
- ・ 事務局 …活発な議論がなされた。学校が持つ課題はすぐに解決できるものではない。子どもたちの成長もすぐに答えが見つかるものではない。

	<p>いので、ぜひ長い目で見てじっくりと成長させていっていただきたい。国の施策では「熟議」と書かれている。今後より深めていってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局 …当初はどのような会議体になるのか未知だった。わずか5回の会議だったが、学校や地域のサポートをしていくという理想のスタイルになっていったように思う。学校を助けるには何が大変なのかを知って考えることから始まるが、現状認識の不足から学校へ苦情が行ってしまっている。学校の負担を減らすために地域ができることは何かを、今後の議論でさらに深めてほしい。</li> <li>・岩田会長 …思ったことを伝え合える会議となった。気づきもあり、大きな流れができた。今後に向けて益々発展していけるとよい。三者連携とは違う（メンバーでの）ボランティアができた。</li> <li>・村上副会長…あまり肩をはずらさずいこうと思っていた。モデルだからとか、秋葉台小がこうだからとかではなく、片瀬小の実情に合わせておこなうことができた。来年度は、今年度かなわなかった給食試食をしていただきたい。来年度もよろしくお願ひします。</li> </ul> <p>* 4. について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉下委員 …来年度は片瀬中もコミュニティ・スクールになるとのこと。片瀬小と互いに委員に入ると小中の交流が密に取れるようになるのではないか。</li> <li>・事務局 …片瀬中の委員は内田校長の意向によって決まる。委員にならなくても傍聴できる。また片瀬地区はモデル地域となるので事務局はオブザーバーとして参画する。また、2/25の市議会において実施状況を報告する。その内容は市のHPに掲載される。</li> <li>・西永委員 …昨年7月から毎週木曜日に片瀬中PTAボランティアによる「片中カフェ」を開いている。不登校生徒保護者の集まりのお話し会を片瀬中図書室で3/12開催する。また、なかなか登校できない生徒向けに「たんぼぼ」主催の月1回のオンライン授業を無料でおこなっている。</li> </ul> <p>* 5. について (学校評価の記入をお願いした。)</p> <p>.</p>
--	---

次回開催予定 2022年 5月20日(金) 10時～  
場 所 片瀬小学校 図工室